

# 新年のごあいさつ



大治町長  
鈴木 康友

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年8月に町長の職を拝命しましてから、はや5カ月が過ぎようとしておりります。皆様からの信頼と期待を胸に、就任当初の気持ちを忘ることなく、本年も町政運営に努めていく覚悟であります。

私の町長就任1年目である令和7年は、町制施行50周年という記念すべき年であります。3月のカウントダウンから始まり、商工祭withはるワインでの神楽揃えや記念式典などのさまざまな記念事業を実施し、多くの方々にご参加いただきました。さらに今年の2月には名古屋マリオットアソシアホテルにて、日本三大つるし飾りのまち（静岡県東伊豆町・山形県酒田市・福岡県柳川市）の作品をお借りし、「雅の会」制作のつるし飾りと共同展示を行う予定です。貴重な機会となりますので、どうぞご期待ください。

令和8年 元旦

さて、本町は緩やかな人口増加が続いていることから、子育てや教育施策の充実は極めて重要なと考えております。昨年の取り組みとしては、子どもたちの健康を増進するため東條砂島地区に「ちびっこ広場」を、そして、保育ニーズに対応するため「三本木こども園」を開設いたしました。また、教育活動に利用されるだけでなく、災害時の避難所としても活用される小中学校の体育馆等に、児童生徒や避難者が熱中症の心配なく安全に過ごせるよう、空調設備の設置を進めてまいりました。

今年は、子育て家庭への支援強化のため新たに乳児等通園支援事業の導入や、スポーツセンターのプール跡地に安心して遊ぶことができる屋内運動施設の供用開始に努めてまいります。

今後も、子どもの居場所づくりや相談体制の拡充、老朽化が進む学校校舎の長寿命化対策を進めるとともに、子どもたちが健やかに学び育つため、より一層の充実を図ってまいります。

本町は、町制施行50周年という節目を新たな出発点として、将来の発展に向けた大きな転換期を迎えております。変化を進める一方で、皆様の声を受け止め、ともに歩むまちづくりを心がけてまいります。そして、新たに生まれた大治町のキャッチコピーである「名物は、地元愛。」を合言葉に、より多くの方に愛され、誇りと愛着の持てる大治町の実現に全力で取り組んでまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新春を迎えて



愛知県知事  
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月、ついに、世界トップレベルのグローバルアリーナ「IGアリーナ」がグランドオープンを迎えました。

また、昨年は、「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION A-i」

がグランドオープンから1周年を迎えたほか、テクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2025」、愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」、3年に一度の国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの人が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

「ジブリパーク」や「STATION A-i」を始め、これまで積み上げてきた

愛知の力と、「IGアリーナ」など新たに加わった力を原動力として、世界と大交流しながらダイバーシティを生み出し、愛知の更なる飛躍に繋げてまいります。

さて、今年は、9月にアジア最大の平和とスポーツの祭典「第20回アジア競技大会」が、10月にはアジア最大の障がい者の国際総合スポーツ大会「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

両大会は、アジア各国・地域との交流を深めるとともに、愛知・名古屋の魅力を世界に発信する絶好の機会でもあります。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

2027年の「アジア開発銀行年次総会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするビッグプロジェクトが目白押しです。

日々ぐるしく変化する世界の情勢に的確に対応しながら、これらのプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2026年元旦

